沼田横塚産業団地整備事業に伴う　［発掘期間　令和５・６年度］

埋蔵文化財発掘調査報告

沼田横塚産業団地整備事業地は、川場村と隣接した横塚町内にあります。

事業地内には、「林ノ上遺跡・高野原遺跡・佐々木遺跡」が存在しており、産業団地造成に伴い、記録保存のための発掘調査を行いました。

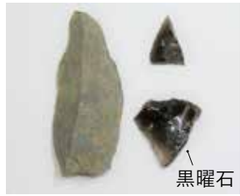
整備事業地（白枠内）と子持山

発掘調査で発見されたもの

竪穴建物跡（地面を掘り下げ、屋根を掛ける建物）33 軒、土坑（地面に掘った穴）1,498 基、古墳 11 基などの遺構が見つかっています。

また、古墳時代から奈良・平安時代の土器、鉄製品などの遺物が多く、発掘用コンテナ 128 箱分にもなりました。

ここでは、２年間の発掘調査で発見された遺構・遺物の中から、代表的なものを紹介します。



旧石器時代の石器

古墳が２基並んでいます。大きな堀が巡ります

人を埋葬した部屋（石室）の石が残っています

竪穴建物跡

丸鞆（まるとも）（帯金具）
古代の役人が腰帯につけた飾り

古代の役人がいたムラ？

調査区の北東部では、奈良・平安時代の竪穴建物跡が、まとまって十数軒発見されました。

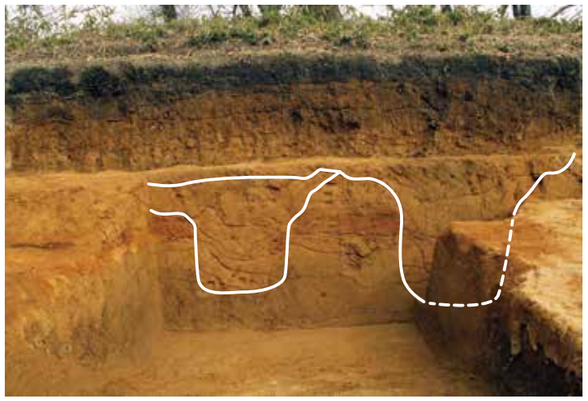
日常的に使われる土器に加え、土器を転用した硯（すずり）、帯金具、刀子が出土しました。これらは、当時の役人がこの場所で暮らしていた可能性を示しています。

縄文時代の狩猟の場

薄根川によって削られた北側崖沿い一帯で、土坑が約 1,400 基見つかりました。その多くが縄文時代の落とし穴と思われます。

多くの落とし穴が見つかったことから、狩猟に適した土地であったと考えられ、獲物を必ず捕まえたいという縄文人の強い意思が伝わってきます。

縄文時代の落とし穴
獲物を穴に追い落としました。真ん中の小さい穴は、木の杭を打ち込んだものと考えられます



旧石器時代の土坑の断面

旧石器時代の活動拠点？

調査区北東部を中心に、旧石器時代の遺構が見つかっています。

石器とともに、石器作りの際に生じた石片の集中する遺構が８カ所見つかりました。これにより、調査した場所は、一時的な野営地ではなく、当時の人々の活動拠点であった可能性があります。

発見された複数の土坑は、旧石器時代に掘られた可能性が高く、そのことが確認されれば、全国的に珍しい事例となります。このため、保存状態の良い2基の土坑については、薬剤で土層断面を固めて剥ぎ取って保存することになりました。

土層の剥ぎ取り作業風景

旧石器時代の遺構の調査風景

企画展を計画中

現在、調査記録や遺物の整理作業を進めており、今後、調査結果を皆さんに紹介する企画展を計画中です。詳細が決定次第、広報や市 HP などでお知らせします。

問合　文化財保護課
埋蔵文化財調査センター
☎ 25-3643